

2026年 中小規模病院・クリニックのための

診療報酬改定と実践的対応策

経営者及び経営幹部が押さえておくべき重要ポイント

物価高騰への対応や医療DXの推進、医療従事者の待遇改善など、2026年度診療報酬改定は、医療機関の経営判断に大きな影響を与える内容となることが予想されます。

こうした中で、診療報酬上の評価や補助金も見据え、医療機関はどのような取り組みを進めていくべきなのでしょうか。

今回は、株式会社リンクアップラボ 酒井代表をお呼びし、2026年度診療報酬改定について、

【外来・在宅医療編】 【入院医療編】に分けて徹底解説いたします。お申込みの方には、アーカイブ配信の視聴方法もご案内します。当日のご参加が難しい方も、ぜひこの機会にお申込みください。

2026.3.19 木
17:30 > 19:00



オンライン配信

※インターネット環境を利用して受講いただけます。
クリニック/病院/ご自宅/外出先などあらゆる場所から
ご参加いただけます。



配信終了後アーカイブ配信予定です

2026.3.26 木 10:00

▼
2026.4.16 木 18:00



ご参加にあたり事前の申込みをお願いいたします

https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/129455?ss_ad_code=dm



アンケート回答者50名様抽選

500円分 プレゼント



※本キャンペーンは富士通Japan株式会社による提供です。本キャンペーンについてのお問い合わせはAmazonではお受けしておりません。富士通Japanオンラインセミナー事務局 (contact-clinic@cs.jp.fujitsu.com) までお願いいたします。

※Amazon、Amazon.co.jpおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

※医療機関にお勤めの方からの申込が対象です。

※申込時にご入力いただきましたメールアドレスへギフトカード番号を後日メールいたします。対象者へのご連絡は、メール送信をもってかえさせていただきます。



参加費 無料



医療機関限定

(中小規模病院様・クリニック様)

主催:富士通Japan株式会社

講演概要



2026年度の診療報酬改定は、物価高騰への対応、医療DXの推進、医療従事者の処遇改善、薬価・診療材料価格の適正化を中心に、医療機関の経営に直結する大きな転換点となることが予想されます。

特に今回の改定では、ベースアップ評価料の算定や電子カルテ・ICT活用による業務効率化など、“取り組んでいる医療機関が評価される仕組み”がより一層強まる見込みです。

本セミナーでは、2026年度診療報酬改定の全体像をわかりやすく整理したうえで、

- ・自院にどの改定項目が影響するのか
- ・人件費増・物価高にどう対応すべきか
- ・医療DX投資を、経営メリットにつなげるための考え方

といった、中小規模病院・クリニックの経営判断に欠かせないポイントを具体的に解説します。

アジェンダ

17:30～17:45 1. はじめに

- 1-1. 新たな地域包括ケアシステムを目指した2026年改定概要
- 1-2. ベースアップ評価料含む人件費増への対応



17:45～18:05 2. 外来・在宅医療編

18:05～18:15 質疑応答

18:15～18:25 休憩

18:25～18:50 3. 入院医療編

18:50～19:00 質疑応答



講師

株式会社リンクアップラボ 代表取締役
社団法人日本医業経営コンサルタント協会 認定コンサルタント
酒井 麻由美氏 (さかい まゆみ)

急性期病院へ入職し、リハビリ部門、入院部門へ配属。その後、医療・介護専門コンサルティング会社へ入社、副所長取締役に就任。2018年、株式会社リンクアップラボを設立。医業経営コンサルタントとして、年間100件以上の講演を開催。主な執筆活動として、医学通信社「月刊保健診療」、医学書院「看護管理」、福祉医療機構「月刊WAM」、QOLサービス「デイの経営と運営」、医業経営コンサルタント協会「JAHMC」(ほか多数)。

お問合せ

富士通Japan株式会社 オンラインセミナー事務局 contact-clinic@cs.jp.fujitsu.com